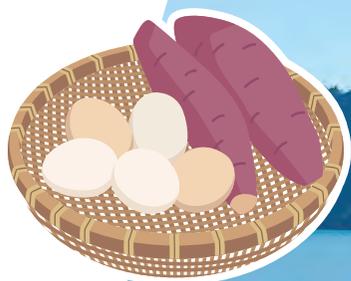




霧島錦江湾国立公園 ストーリーブック

指宿地域

～国立公園の魅力を高めるために
関係する地域の皆様と共有したいストーリー～



目次	……………	P01		
この冊子の使い方	……………	P02		
1 地域関係者のみなさまとの 国立公園ストーリー共有について	……………	P03		
2 霧島錦江湾国立公園概要	……………	P10		
霧島錦江湾国立公園地図	……………	P13		
3 指宿地域全体つながり図	……………	P15		
指宿地域ストーリー ①～③	……………	P16		
来訪者に望まれる体験				
ストーリーを実感できる、おすすめの場所・体験				
4 日本の国立公園（制度、外国の国立公園との違い） ……		P31		
日本の国立公園地図	……………	P34		
			5 国立公園のブランドプロミス、 国立公園のストーリーの意義と保全・ 利用への活用について	…………… P35
			国立公園のブランドプロミス	…………… P36
			国立公園のブランドプロミスと ブランディング活動の関係	…………… P37



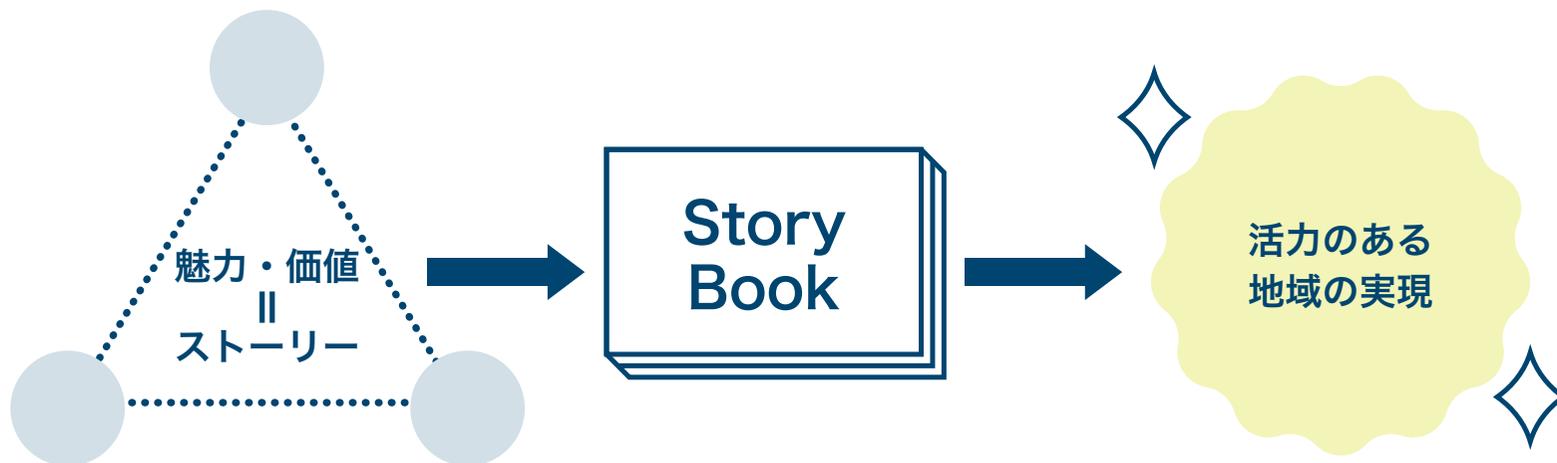
この冊子の使い方

全国に 35 か所（2025 年 3 月現在）ある国立公園は、我が国の景観を代表すると共に、世界的にも誇りうる傑出した自然の風景の保護と利用を目的として指定されています。世界でも「国立公園」は多くの人に愛され利用される存在となっており、訪日外国人にとっても魅力的な訪問地として期待されています。

「霧島錦江湾国立公園」は、我が国最初の国立公園の一つであり、自然景観の美しさに加えて、その地域の成り立ち、そこに住む動植物や自然が育んだ土地の文化や歴史などの「ストーリー」が豊かな魅力を引き出しています。

国立公園に点在する景勝地や歴史・文化が「ストーリー」として結びつくことにより、国立公園のブランド価値が高まります。そしてそのストーリーを地域の人々が共有し、伝えることにより、来訪者はその価値を実感することができ、地域への愛着も高まると考えられます。

国立公園の保全と利用には、地域の様々な立場の方が関わっています。このストーリーをみなさまと共有し、それぞれの立場から発信していただくためにこの 1 冊をまとめました。この冊子があなたにとって「霧島錦江湾国立公園」をより深く知るヒントとなり、地域の魅力や価値を伝える手助けになれば幸いです。



地域関係者のみなさまとの 国立公園ストーリー共有について

前述のように国立公園の保全と利用には、地域の様々な立場の方が関わっています。それぞれの立場の方が国立公園のストーリーを活用して発信していただくことにより霧島錦江湾国立公園の魅力や価値が、国内外から認識されるとともに活力ある地域の実現につながっていくことが期待されます。

ここでは、その発信方法についての例を示しています。参考にいただき、地域全体で国立公園のストーリーを発信していきましょう。

ガイド・インタープリターのみなさま



訪れた方に霧島錦江湾国立公園のストーリーに沿った、この地域ならではの体験を提供する際に活用していただきたいと思います。また地域資源の保全のために、その価値を伝えていただけたらと願っています。

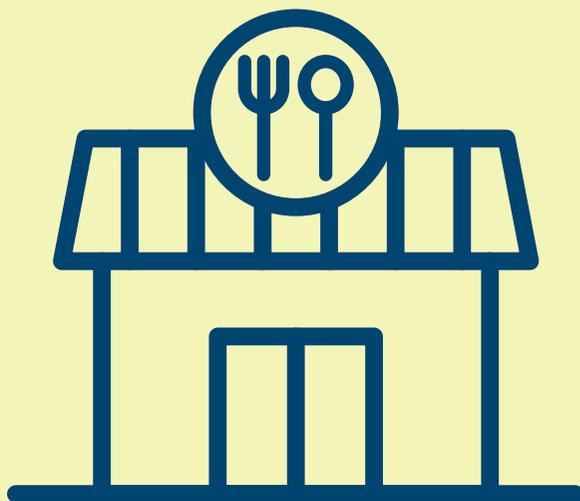
活用例

- ・ガイドで話す内容、展示、パンフレット、ホームページなどに「ストーリー」を盛り込む
- ・ツアーを組み立てる際に「来訪者に望まれる体験」を参考にする

期待される効果

来訪者が地域のストーリーにふれると、ツアーやアクティビティでの体験がこの場所でしか味わえない特別なものになります。その結果、地域の魅力や価値に気づき、参加者が地域のファンやリピーターになることが期待されます。

飲食店のみなさま



訪れた方に霧島錦江湾国立公園が育んだ独自の食を提供する際に活用いただきたいと思います。

活用例

- ・商品やメニューを考案する際に「ストーリー」を参考にする
- ・従業員の方が食材を説明する際や、店内で食材の紹介をする際に「ストーリー」を参考にする

期待される効果

地域で育まれた食材や料理をストーリーとともに提供することで、その土地ならではのものを食べたいという来訪者のニーズに応えることにつながり、地域が培ってきた食文化を体験することで来訪者の満足度の向上が期待されます。

宿泊事業者のみなさま



訪れた方に霧島錦江湾国立公園の魅力やストーリーを伝える際に活用いただきたいと思います。

活用例

- ・提供する食事のメニューやパンフレット、施設内の装飾に「ストーリー」を活用する
- ・フロント等で観光コースを案内する際に「ストーリーを実感できる、おすすめの場所・体験」を参考にする

期待される効果

地域が培ってきた食文化を体験することが来訪者の満足度の向上につながるだけでなく、地域のストーリーに触れることのできる宿に泊まることで、来訪者の旅行の質が高まることが期待されます。

土産物店のみなさま



訪れた方が霧島錦江湾国立公園のストーリーを持ち帰ることができる商品の参考にしていただきたいと思います。

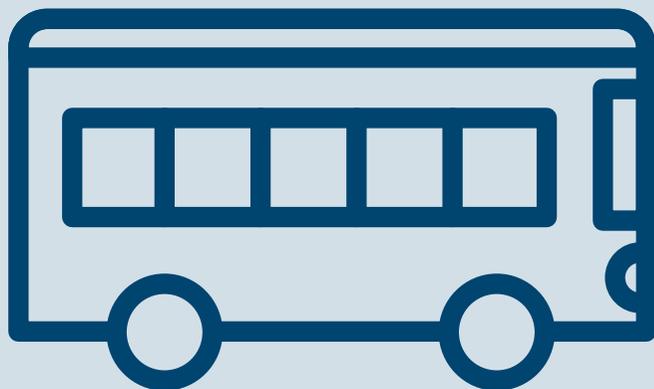
活用例

- ・商品の開発やパッケージをデザインする際に「ストーリー」を参考にする
- ・お客さんとの会話の参考にする

期待される効果

ストーリーと結びつけられた土産物、特産品を購入することで、来訪者が地域での体験を思い出すきっかけとなり、取り寄せや通信販売などを通しての継続購入につながることを期待されるほか、お土産を送られた知人、友人が新たな来訪者になることも期待されます。

交通事業者のみなさま



訪れた方に霧島錦江湾国立公園の魅力やストーリーを伝える際に活用いただきたいと思います。

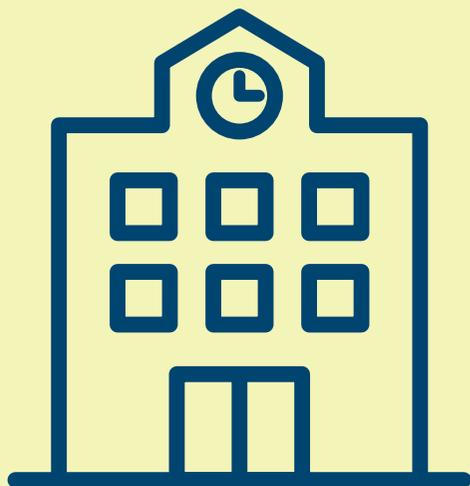
活用例

- ・機内、車内、船内でのアナウンスの内容に「ストーリー」を活用する
- ・パンフレット等を作成する際に「ストーリー」の参考にする

期待される効果

来訪者が移動中にストーリーにふれることで、これから訪れる地域への期待度を上げ、帰路につく来訪者が地域での体験をふりかえり、思い出す機会を提供することが期待されます。

学校関係者のみなさま



地域の児童、生徒のみなさんが霧島錦江湾国立公園の魅力や価値を再発見するために活用いただきたいと思います。

活用例

- ・総合的な学習や探究学習の時間に「ストーリー」を教材にする
- ・野外学習の訪問先を決める際に「ストーリーを実感できる、おすすめの場所・体験」を参考にする

期待される効果

地域の将来を担う児童、生徒のみなさんが地域のストーリーを知ることによって、より一層地域に愛着や誇りを持つことが期待されます。

行政職員・観光協会のみなさま



霧島錦江湾国立公園を様々な形で地域内外に発信する際に活用
いただきたいと思います。

活用例

- ・地域の価値や魅力を紹介する際に「ストーリー」を活用する
- ・資源の保全の方針を作成する際に「ストーリー」を参考にする

期待される効果

地域内外の方に魅力や価値を理解いただけるだけでなく、各資源
の保全と活用に関する指針となることが期待されます。

KIRISHIMA-KINKOWAN NATIONAL PARK

霧島錦江湾国立公園

国立公園とは？

我が国を代表する優れた自然の風景地を保護するとともに、その利用の増進を図ることにより、国民の保健、休養及び教化に資するとともに、生物の多様性の確保に寄与することを目的とする。

霧島錦江湾国立公園は、霧島、桜島錦江湾奥、指宿、佐多の各地域に区分される。

霧島地域は、大小 20 以上の火山が連なる山岳地。火山活動に伴って誕生した火口湖、噴気現象、高原、温泉など、変化に富んだ景観が展開し、「火山地形の見本園」とも称される。霧島山は天孫降臨神話の舞台ともされる神秘の山々でもある。山麓には霧島温泉郷などの温泉地が点在し、同時に良質な水を生み出す。桜島錦江湾奥地域は、現在も噴煙を上げる桜島を中心に、海と火山が織りなす独特の景観を見せ、人々の生活圏は火山と非常に近接している。南に下り、指宿地域に位置する開聞岳は「薩摩富士」とも称される地域のランドマーク。また大隅半島側の本土最南端・佐多岬を含む佐多地域は亜熱帯性植物が多く生育し、南国情緒満点である。

今も噴火活動を繰り返す火山は、「災い」をもたらすだけでなく、多彩な温泉や食文化を育み、人々の暮らしに幾多の恵みをもたらしている。

活きた火山に近接する
大地と海と人のセッション

霧島錦江湾国立公園

指定：昭和 9 年 3 月 16 日

面積：36,624ha（陸域）、37,855ha（海域）

鹿児島県・宮崎県の両県にまたがる

霧島錦江湾国立公園には、現在も噴火を続ける火山や、過去の大規模な噴火によって形成された、巨大なカルデラ群が見られる。これらは九州の東側の海底に沈み込むプレートに起因して形成されたもので、加久藤カルデラ、小林カルデラ、始良カルデラ、阿多カルデラなどが、列をなして南九州地方を南北に並んでいる。

例えば、桜島錦江湾奥地域には始良カルデラの南部に桜島があり、さらにその南側に阿多カルデラが存在している。始良カルデラは現在は内湾となっているが、巨大な火山が噴火して落ち込んだ巨大なカルデラで、我が国屈指の海上カルデラ景観を有する。また、桜島はかつて、名称が示すとおり「島」であった。しかし、大正3(1914)年に起きた大規模な噴火の際、流出した溶岩によって大隅半島と陸続きになった。幕末・明治の時代を生きた西郷隆盛は、現代の私たちが見るのとは異なる、桜島の風景を眺めていたことになる。

大地の姿を幾度となく変化させてきた霧島錦江湾国立公園の火山群。悠久の大地の時間に想いを馳せながら、ダイナミックな地球の活動を目で見ても肌で体感できるのも、この地の魅力だ。

桜島と錦江湾



新燃岳噴火



佐多岬



噴煙を上げながら錦江湾にそそり立つ鹿児島県のシンボル、桜島。人口約 60 万人の県都（鹿児島市）の中心街からわずか 4km という目と鼻の先に、噴火を繰り返す活火山が存在し、その桜島には今なお 3,500 人の人々が暮らす。日々、降灰予報などを気にしながら暮らす環境は、世界的に見ても非常に珍しい。

ここでは、多くの住民が火山からの恵みを楽しみながら、農業や漁業、観光産業などで生計を立てている。降灰は農産物の大敵だが、時には特産品も誕生させる。火山灰土壌を好む「桜島大根」はその代表格だ。また、温暖で湿潤な気候は、発酵食品の生産にも適しており、錦江湾に面した霧島市福山（※国立公園外）には、黒酢を発酵・熟成させる壺がズラリと並ぶ「壺畑」の風景が広がる。また、山々に濾過された水が南九州の焼酎文化を支え、良質な茶葉を生み出している。

火山の恵みの最たるものと言えば、各地で湧出する温泉だ。多彩な泉質のいで湯が湧く霧島温泉郷、地熱を利用した「砂むし風呂」を体験できる指宿温泉のほか、幕末の英傑・西郷隆盛や坂本龍馬が入浴を楽しんだ温泉もある。また、個室の温泉施設を少人数で楽しむ「家族風呂」という温泉文化も霧島が発祥地だ。さらに大地からわき出る蒸気熱を利用した「天然蒸気かまど（スメ）」が各家庭に 1 個ずつ備わっている集落もある。

火山と近接した暮らしは、霧島錦江湾国立公園独特の食文化や温泉文化を形成する、大きな要因の 1 つになっている。



黒酢の壺畑



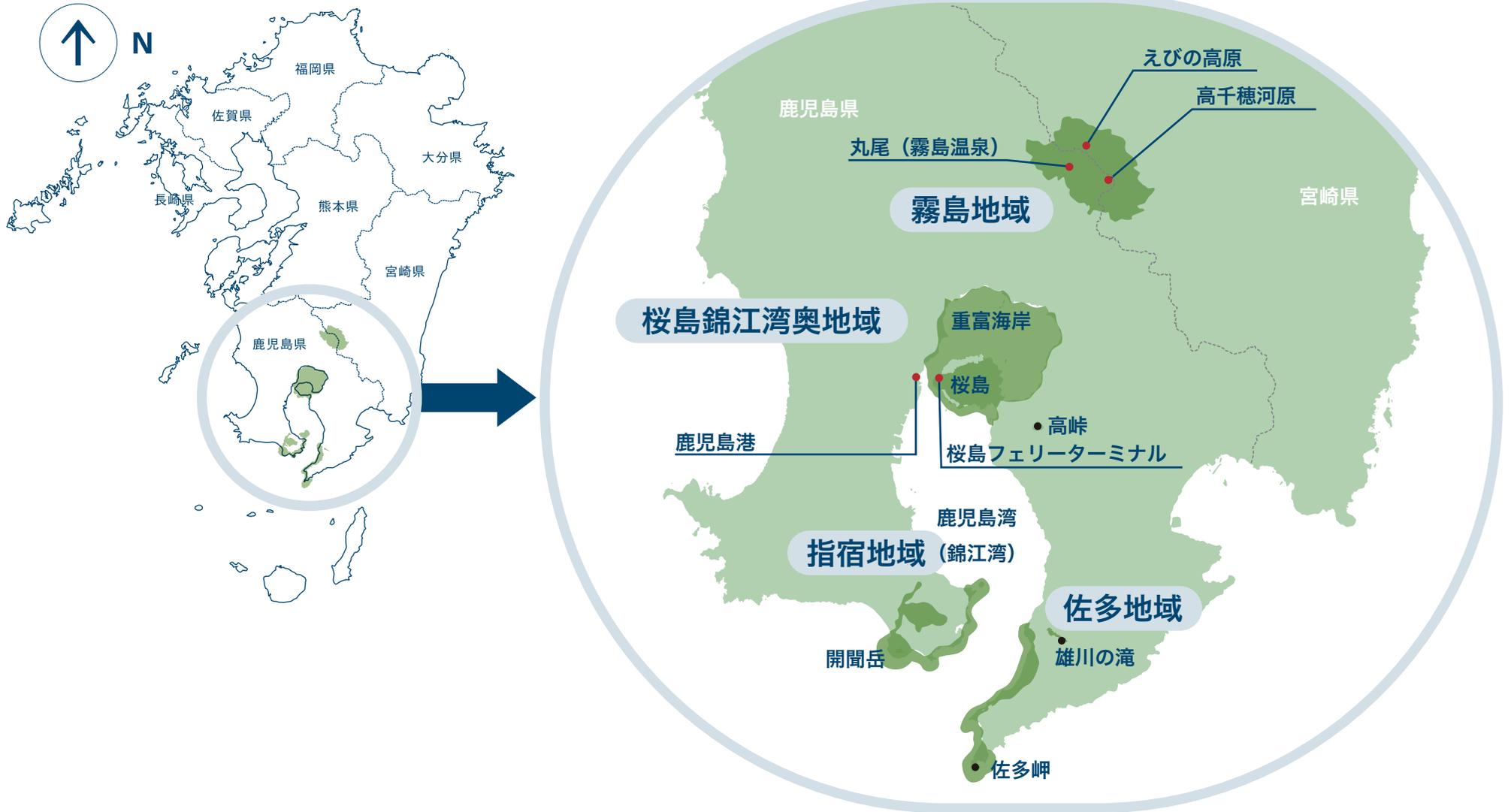
指宿天然砂むし温泉

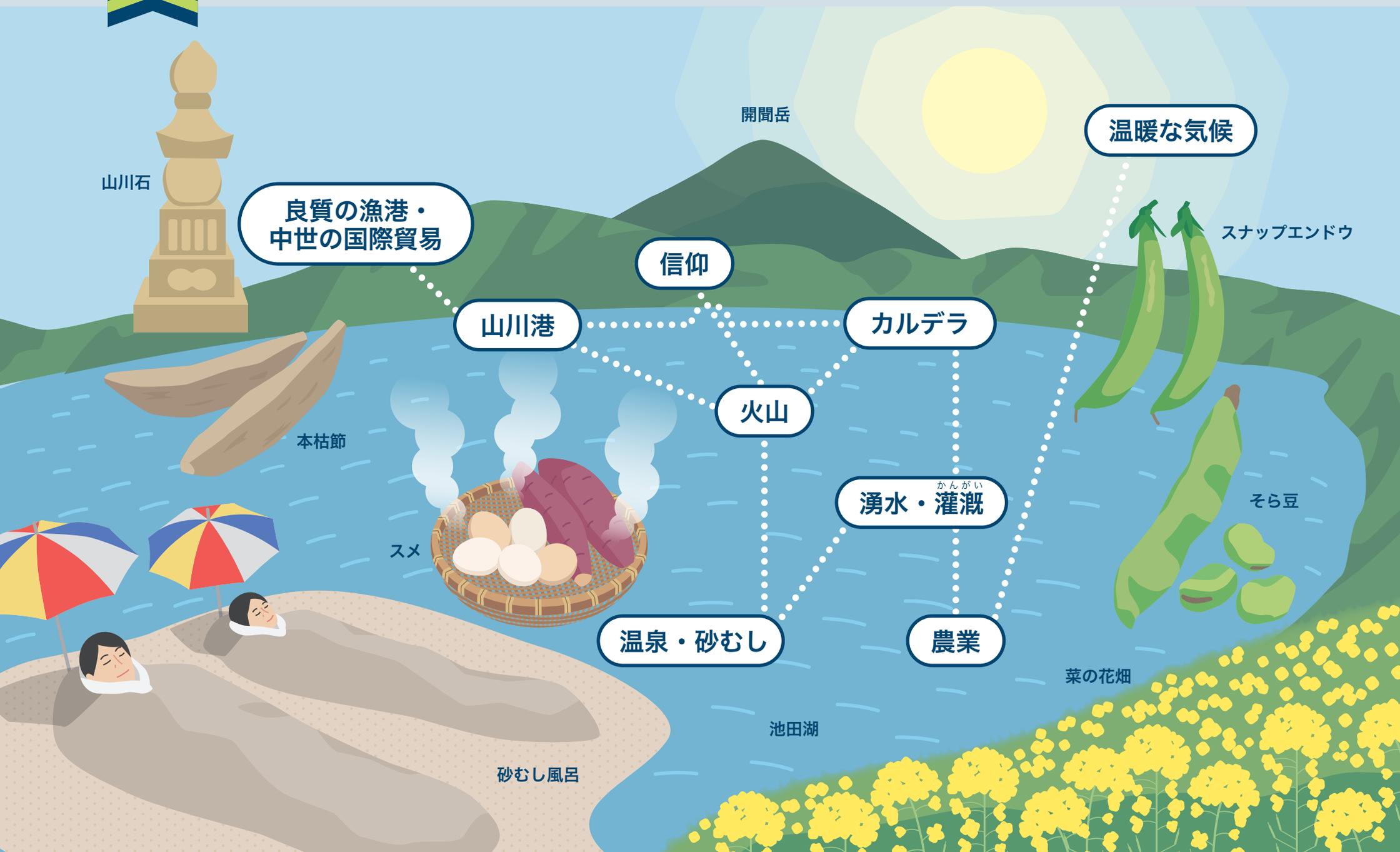
© K. P. V. B



城山展望台からの桜島

世界でも稀有な火山と
人の暮らしの「近さ」





温暖な気候

スナップエンドウ

そら豆

菜の花畑

開聞岳

良質の漁港・
中世の国際貿易

信仰

山川港

カルデラ

火山

湧水・灌漑
かんがい

温泉・砂むし

農業

山川石

本枯節

スメ

池田湖

砂むし風呂



地域の重要性を表す独自の因果関係

噴火によって形作られた地形が 地域の歴史を紡いできた

着目した地域の重要な資源

カルデラ

池田湖

山川湾

開聞岳

山岳信仰

枚聞神社

指宿橋牟礼川遺跡

左：池田湖と開聞岳
中：知林ヶ島
右：山川港



指宿市の地形はほぼ全域が火山活動により形成されたものである。太古の巨大噴火により陥没した巨大なカルデラの中にあるという説があり、鬼門平（おんかどびら）や魚見岳、知林ヶ島（ちりんがしま）付近にカルデラ壁の痕跡があるともいわれている。

九州最大の湖である池田湖も、約 5700 年前の大噴火による陥没でできたカルデラ湖であり、その湖底にも火山がある。最深部 233m と日本で 4 番目に深く、地域の重要な水源となり農業を地域の重要な産業に育ててきた。

山川湾（やまがわわん）も同様に、約 5700 年前の火山活動によってつくられた。噴火によってできた噴火口の壁面のうち、東側の一部が崩れて海水が入ったことで現在の形となった。湾内は波が穏やかで水深が深いことから、中世から大型船も停泊できる国際貿易港としてにぎわい、キリスト教を伝えたザビエルの来日前に事前調査として 1546 年に日本を訪れた、友人のジョルジュ・アルバレスが山川に半年間滞在している。彼は「日本報告」を執筆して日本についての生活、文化、風俗といった情報を伝えた。多くの人々を飢えから救ったサツマイモが前田利右衛門（まえだりえもん）によって琉球から伝えられたのもここ山川といわれ、日本の歴史にも大きな影響を及ぼしている。

約 3700 年前の縄文後期の噴火で誕生し何度も噴火を起こしてきた開聞岳（かいもんだけ）は、独立した円錐形的美しさから薩摩富士とも呼ばれ、今も昔も地域にとってシンボリックな存在である。指宿の

火山の中でもひとときわ目立ち、山岳信仰の対象となっていた。大きく海へ突出した開聞岳は航海の目印になるだけでなく、海上の安全を見守る神として崇められてきた。薩摩の国一宮である枚聞神社（ひらききじんじゃ）はこの開聞岳を神体とし、開聞岳の山頂付近には枚聞神社の奥宮とされる御嶽神社（みたけじんじゃ）がある。交通、航海安全、漁業守護の神として人々の厚い信仰を集めてきた。

周囲にある国指定史跡の指宿橋牟礼川遺跡（いぶすきはしむれがわいせき）では開聞岳の火山灰を挟んで、下から縄文土器、上から弥生土器が出土した。これにより縄文時代が弥生時代よりも古いことが初めて証明され、日本の考古学において指宿地域を重要な場所にした。

このように、火山活動によりつくられた多様な地形が、人々の歴史に深く結びついている。



池田湖と開聞岳

来訪者に望まれる体験

訪問先での体験、経験を通して
訪問者に知ってほしい・感じてほしいこと

- 火山によってできたといわれる地形を見て、太古の火山活動の壮大なスケールを想像してほしい → ① ②
- 山川湾を眺めて、交易や人々の往来でにぎわっていた当時の活気を想像してほしい → ①
- 開聞岳の美しさにふれて、その姿が古くから信仰の対象や地域の象徴として親しまれてきたことを実感してほしい → ① ② ③
- 指宿橋牟礼川遺跡を訪れて、縄文時代からの開聞岳の噴火と人々の暮らしに思いをさせてほしい → ④

「来訪者に望まれる体験」ができる場所やアクティビティ

1

開聞岳からの景色を楽しむ



知林ヶ島や池田湖、山川港、鬼門平など、火山活動によってつくられた指宿市の地形を一望することができます。

2

展望台から池田湖を眺める



急な湖岸などカルデラ湖特有の地形を観察することができ、開聞岳も見ることができます。

3

枚聞神社を参拝する



枚聞神社は交通、航海安全、漁業守護の神として人々の厚い信仰を集めてきました。天気の良い日には社殿越しに開聞岳の山頂を望むことができます。

4

指宿市考古博物館 時遊館 Cocco はしむれを訪れる



縄文時代と弥生時代の時代関係が証明された当時の様子を学ぶことができます。

© P. K. N



地域の重要性を表す独自の因果関係

火山活動の恩恵「温泉」が、 地域特有の文化と日常生活を形づくる

着目した地域の重要な資源

指宿温泉

湯治文化

指宿砂むし温泉

スメ

地熱

左. 砂むし

中. スメ

右. 湯気が立ち上がる河川



指宿の火山活動はこの地域に千カ所以上の豊富な泉源をもたらしている。古くから湯治場として利用されており、16世紀の碑文には「指宿」を「湯豊宿（ゆぶすき）」と記しているものもある。1546年に日本を訪れたポルトガル人のジョルジュ・アルバレスが「海岸で人々が穴を掘り入浴している。」と記している。江戸時代に薩摩藩が作った「三国名勝図会（さんごくめいしょうずえ）」（今でいう見所ガイドのようなもの）にも「諸病を治す」との記載が見られる。中でも二月田温泉殿様湯（にがつでんおんせんとのさまゆ）は第10代薩摩藩藩主島津斉興（なりおき）によりつくられ、その後の藩主らを癒してきた。現在でも浴場の敷石や石造りの湯船、明治中期頃に貼られた可能性が高いとされるタイルが残っている。地下を通り砂浜で湧き出す温泉の熱で温められた砂に身体を包む、世界的にも珍しい天然の砂むし温泉は約500年の歴史があるともいわれている。

火山の恵みは人々の生活にも利用されている。約5700年前の火山噴火でできた湖である鰻池（うなぎいけ）の集落には、いたるところに火山活動による高温の蒸気が吹き出す場所がある。この蒸気を利用した天然のかまど「スメ」は地域の多くの家庭で生活の一部になっている。そのためスメ文化が定着したこの地域では、薪炭による燃料をほとんど必要としてこなかった。江戸時代から湯治場として利用されてきた鰻温泉には西郷隆盛が約1か月逗留していた記録も残っている。

また、温泉の熱は昭和30年代まで製塩業に利用されており、現在では野菜や果物、観葉植物の生産にも利用されている。

街中では温泉水が水路や河川に流れ込み、いたるところで湯気が立ち上る光景を見ることができる。また、個人宅への配湯も行われているなど、温泉が人々の生活の一部となっている。

火山活動は温泉や地熱といった恵みを提供し、地域ならではの文化と暮らしを築き上げている。



鰻地区周辺で見られる
火山性の噴気

来訪者に望まれる体験

訪問先での体験、経験を通して
訪問者に知ってほしい・感じてほしいこと

- 天然の砂むし温泉に入り、火山の熱を体感してほしい → ❶
- スメ料理を味わい、火山が生活の一部になっている文化にふれてほしい → ❷
- 製塩工場跡を訪れ、地熱の力強さを間近で感じてほしい → ❸
- 川や水路からあがる湯気を見て、温泉が身近にある暮らしを実感してほしい → ❹

「来訪者に望まれる体験」ができる場所やアクティビティ

1

砂むし温泉に入る



温泉の熱で温められた砂に身体を包む天然の砂むし風呂は、砂浜に埋まることで温泉熱だけでなく波の音や潮のにおいを感じることもできます。

2

スメで蒸した料理を食べる



鰻温泉スメ広場では野菜や卵など、自分で準備した食材をスメで蒸して食べることができます。

3

山川製塩工場跡を訪ねる



© K. P. V. B

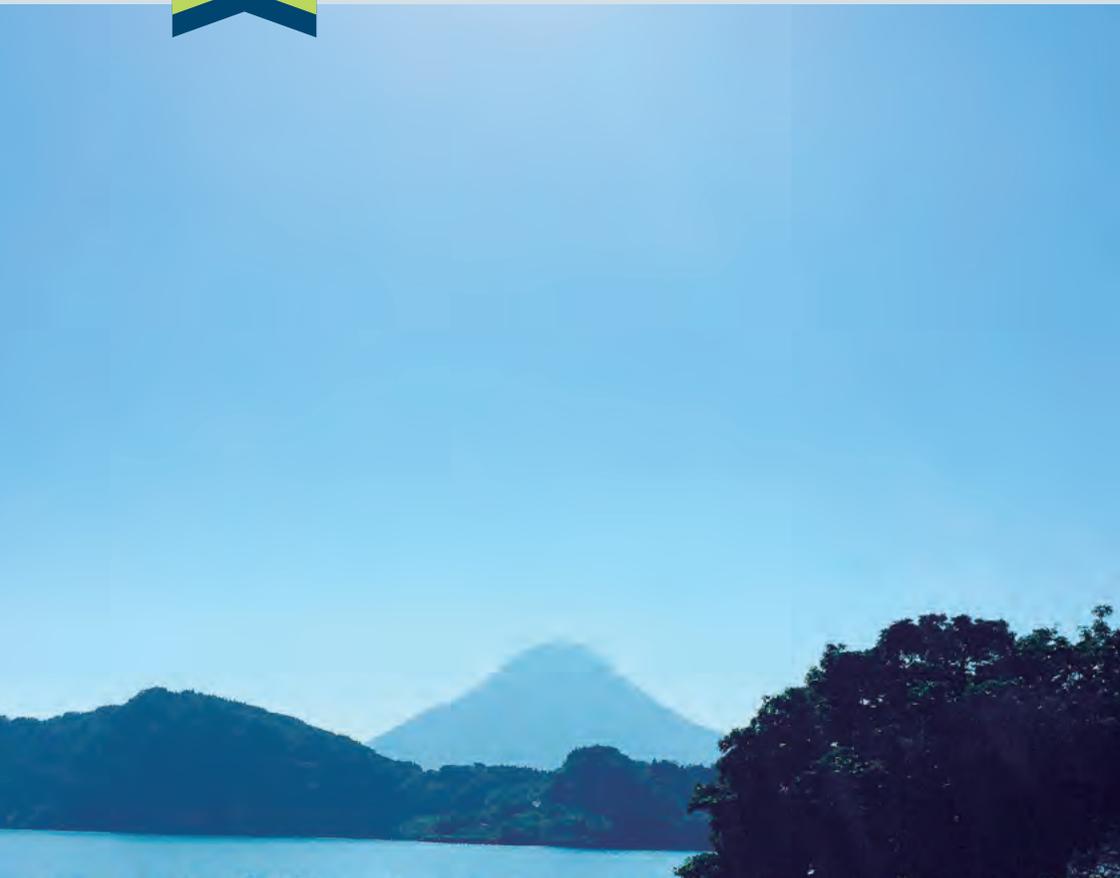
当時の塩田跡と泉源を見ることができ、今もなお地熱による湯気が立ち上る様子を間近で見ることができます。

4

湯気の立ち上る街を歩く



指宿の街中では、特に冷え込んだ日に、流れ込んだ温泉により川や側溝から湯気が立ち上る様子を見ることができます。



地域の重要性を表す独自の因果関係

火山が生み出した地形や土壌、
そして温暖な気候が
地域に特産物をもたらしている

着目した地域の重要な資源

山川湾

鯉節

池田湖

温暖な気候

スコリア

指宿カオリン

白薩摩

山川石

左 . 開聞岳と菜の花畑
中 . スナップエンドウ
右 . 山川石



噴火によってできた山川湾は波が穏やかで、かつては遠洋漁業基地として栄えた。カツオの水揚げ港としても利用されていて、水産加工施設も多い。約半年かけてつくられる鰹節の最高級品である本枯節（ほんかれぶし）の生産量は日本一（令和5年現在）となっており、付近には鰹節の香りが漂う。製造過程における副産物としてかつおの腹皮（はらがわ）や、麦味噌と鰹節を茶碗に入れ、緑茶を注ぎよく混ぜた「茶節（ちゃぶし）」という郷土料理が知られている。

噴火によりできた九州最大の湖である池田湖に蓄えられた水は、地下水となり、平成の名水百選にも選定されている京田湧水（きょうでんゆうすい）として唐船峡（とうせんきょう）そうめん流しを名物にした。昭和45年（1970年）以降、池田湖を利用した大規模な国営灌漑排水事業が行われたことにより広大な畑地が潤い、年間を通して温暖な気候も相まって、夏のオクラや冬のソラマメ、スナップエンドウは生産量日本一となり、観葉植物の産地としても全国屈指の地位を築いている。江戸時代から特産品として栽培されてきた菜種は、観賞用の菜の花としても栽培されており、12月下旬～2月上旬には早くも見ごろを迎え、指宿市のシンボリックな花となっている。

火山由来の土壌も名産品をつくり出している。噴火により噴き出た孔（あな）の多い石や岩はスコリアと呼ばれ、水はけが良くスイカの生産に適していることからこの地域の名前が付いた徳光（とっこう）スイカが生まれた。地域の気候によって糖度が高くなり、江戸時代に薩摩藩が作った「三国名勝図会」（今でいう見所ガイドのようなもの）にもそのおいしさが記載されている。

また、火山活動による熱水や火山ガスによってカオリンが生まれ、白薩摩（薩摩焼）の生産を可能にした。白薩摩は「SATSUMA」として、1867年の第2回パリ万国博覧会にも出展され国際的に高い評価を得た。

阿多カルデラの噴火以降に噴出した山川の凝灰岩は山川石と呼ばれる。淡黄色が特徴で軽く、風化に強いことから石材として利用されてきた。石垣として街並みを形づくっているほか、薩摩藩主の墓石に使用されたり、奄美などとの交易品として取引されるなど鹿児島県にとっても特別な存在であった。

繰り返されてきた火山活動によりつくられたユニークな地形や地質、温暖な気候は地域に恵みをもたらしている。



鰹節

来訪者に望まれる体験

訪問先での体験、経験を通して
訪問者に知ってほしい・感じてほしいこと

- 鰹節やそれらを使った料理を味わい、火山活動を背景とした港の歴史を想像してほしい

→ ①

- 流しそうめんやオクラ、ソラマメなどを食べ、火山地形がもたらした水の豊かさを感じ

てほしい → ②

- 山川石でできた石垣が残る街並みを歩き、火山がもたらした景観を楽しんでほしい

→ ③

「来訪者に望まれる体験」ができる場所やアクティビティ

1

鯉節の香りが広がる街を歩く



山川港の周辺にある鯉節工場や商店では鯉節を購入することができます、飲食店では鯉節をつかった料理を食べることもできます。

2

野菜を買って食べる



© K. P. V. B

直売所や道の駅などでは、地域で生産された野菜を購入することができます。

「来訪者に望まれる体験」ができる場所やアクティビティ

3

山川石でできた石垣や石碑を探す

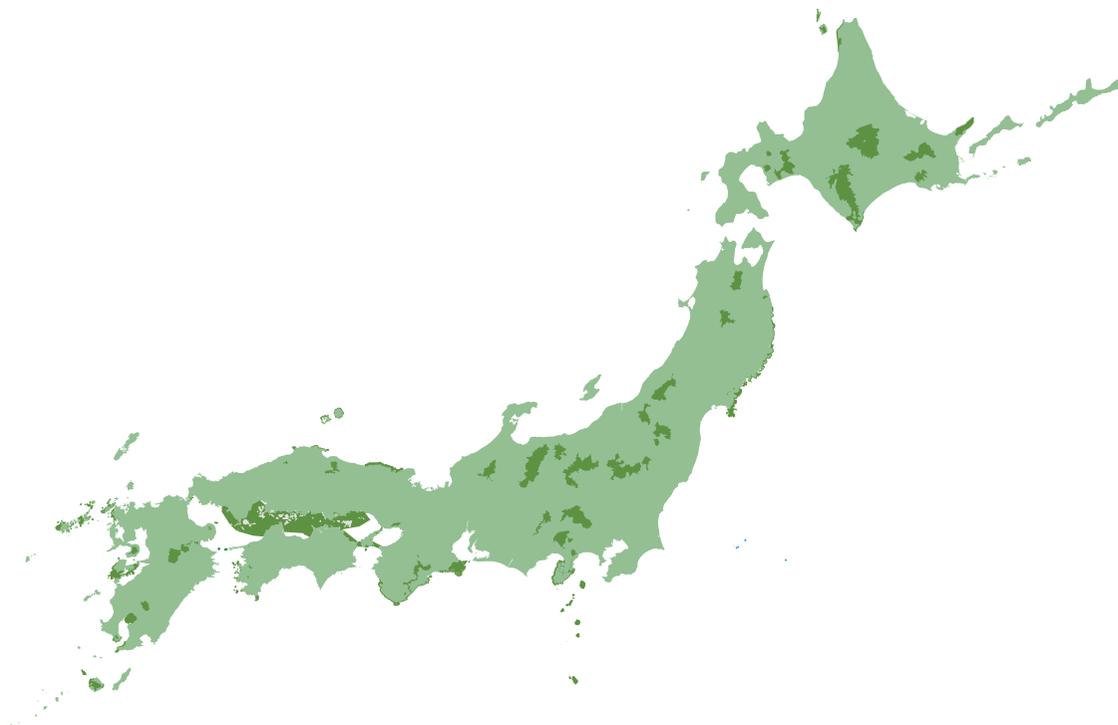


指宿市内の山川地区では、山川石でできた淡い黄色が特徴の石垣や石碑を見ることができます。

個性豊かな 35 の国立公園

※2025 年 3 月現在

北から南まで、約 3,000 キロメートルに伸びる日本列島には、雪をかぶった山々から色とりどりの珊瑚礁まで、さまざまな自然の風景が広がっています。約 7 千種の植物、1 千種を超える動物、7~10 万種もの昆虫類などが生育・生息しています。また、豊かな水や活発な火山の恵み、手つかずの自然だけではなく、人の手が入ることによって多様な生態系と自然環境が保たれている里海、里山など、人と自然が共生する場所もあるのが日本の国立公園の特徴です。



国立公園 90 年の歴史

国立公園は、世界の多くの国で設けられていますが、世界で初めての国立公園として、アメリカのイエローストーン国立公園が 1872 年に指定されました。日本では明治 44 年（1911 年）に「日光を帝國公園となす請願」が議会で提出され、その後多くの人々の要望が高まって昭和 6 年（1931 年）に国立公園法が制定され、それに基づいて昭和 9 年（1934 年）3 月 16 日に瀬戸内海、雲仙、霧島の 3 箇所が日本初の国立公園に指定されました。

その後、昭和 32 年（1957 年）には国立公園法が全面的に改定されて自然公園法が制定され、国立公園、国定公園、都道府県立自然公園といった現在の自然公園体系が確立されました。日本の素晴らしい風景の保護と適正な利用の増進のために様々な制度や仕組みを整えながら、きめ細かな管理ができるようにして、現在に至っています。北は北海道から南は沖縄、小笠原諸島まで国立公園は 35 箇所（令和 7 年 3 月現在）になり、毎年多くの人々が利用しています。

日本の国立公園制度

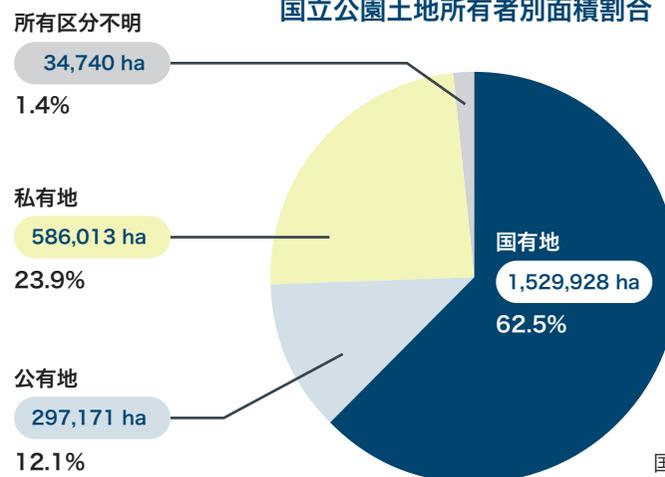
世界の多くの国の国立公園では、その先駆けである米国のように、壮大な自然を全て国有地として、ほぼ手つかずの自然を守る制度となっています。これを「営造物（えいぞうぶつ）公園」といいます。日本の国立公園の区域は土地の所有にかかわらず設定され、人が暮らす場所も少なくありません。優れた景観を守るため開発は制限されています。こうした形の制度を「地域制（ちいきせい）公園」といいます。外国人の方の多くは、日本の国立公園に人が住んでいるのを見て驚くかもしれません。しかし、人々が自然と共に作ってきた農村・漁村の暮らしは、自然と深いつながりを持っています。

また、国立公園は、自然についての知識を深め、健康やレクリエーションのために自然と触れ合う場として利用されています。

国立公園は全国に 35 個

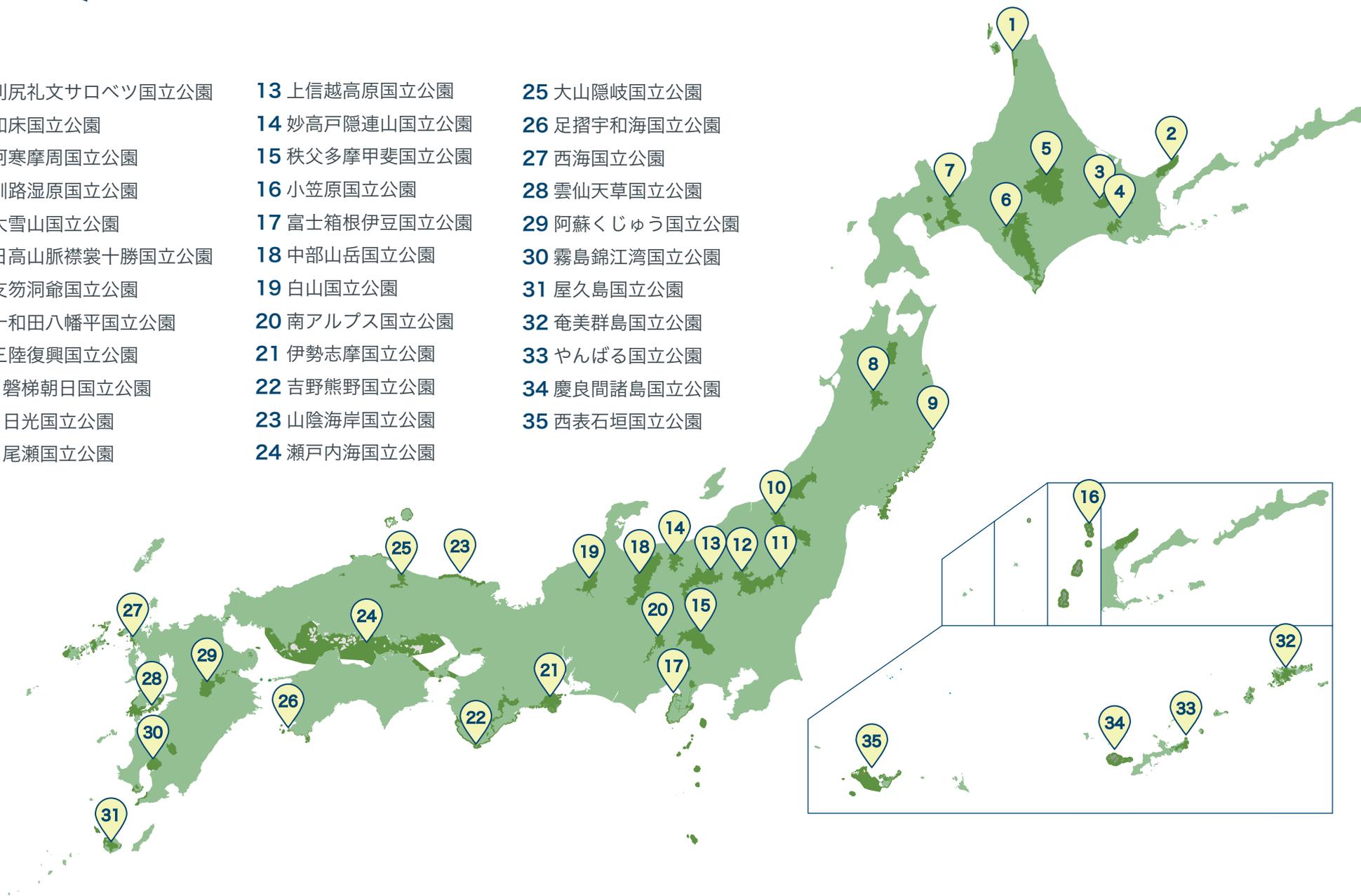
日本の国立公園は、土地の所有に関わらず指定を行う「地域制自然公園制度」を採用しており、多くの私有地も含んでいます。

国立公園土地所有者別面積割合



国立公園土地所有者別面積割合
令和 7 年 3 月 31 日現在
国有地の大部分は林野庁所轄国有林

- | | | |
|----------------|---------------|---------------|
| 1 利尻礼文サロベツ国立公園 | 13 上信越高原国立公園 | 25 大山隠岐国立公園 |
| 2 知床国立公園 | 14 妙高戸隠連山国立公園 | 26 足摺宇和海国立公園 |
| 3 阿寒摩周国立公園 | 15 秩父多摩甲斐国立公園 | 27 西海国立公園 |
| 4 釧路湿原国立公園 | 16 小笠原国立公園 | 28 雲仙天草国立公園 |
| 5 大雪山国立公園 | 17 富士箱根伊豆国立公園 | 29 阿蘇くじゅう国立公園 |
| 6 日高山脈襟裳十勝国立公園 | 18 中部山岳国立公園 | 30 霧島錦江湾国立公園 |
| 7 支笏洞爺国立公園 | 19 白山国立公園 | 31 屋久島国立公園 |
| 8 十和田八幡平国立公園 | 20 南アルプス国立公園 | 32 奄美群島国立公園 |
| 9 三陸復興国立公園 | 21 伊勢志摩国立公園 | 33 やんばる国立公園 |
| 10 磐梯朝日国立公園 | 22 吉野熊野国立公園 | 34 慶良間諸島国立公園 |
| 11 日光国立公園 | 23 山陰海岸国立公園 | 35 西表石垣国立公園 |
| 12 尾瀬国立公園 | 24 瀬戸内海国立公園 | |



国立公園のブランドプロミスの設定について

背景・趣旨

2016年に政府がとりまとめた「明日の日本を支える観光ビジョン」の柱の一つとして国立公園が位置づけられ、「国立公園満喫プロジェクト」が進められてきた。先行8公園において集中的に実施してきたが、2021年以降は、利用面での施策を強化した改正自然公園法(2022年4月施行)の運用も含め、全35公園への水平展開を進めている。

その中で、国立公園のブランディングを強化するため、「国立公園のブランドプロミス」として、国立公園が来訪者・地域に約束することを、2023年に国立公園のブランディング「全ての国立公園の共通の管理運営指針」として定められ、国立公園の管理運営に関わる関係者が共通の理解を持つこととされている。

合わせて、「国立公園のブランディング活動」として、「ブランドプロミスを実現し続けるため、環境省と地域・関係者が一緒に取り組むこと」が全ての国立公園で共通の項目として、国立公園の管理運営に関わる関係者が連携して取り組むものとして定められた。

ブランドメッセージ

「その自然には物語がある」

提供価値

多様な自然風景と、生活・文化・歴史が凝縮された物語を知ること、忘れられない唯一無二の感動や体験ができる。

ブランドプロミス（国立公園が来訪者・地域に約束すること）



1

感動的な自然風景
美しい自然風景

2

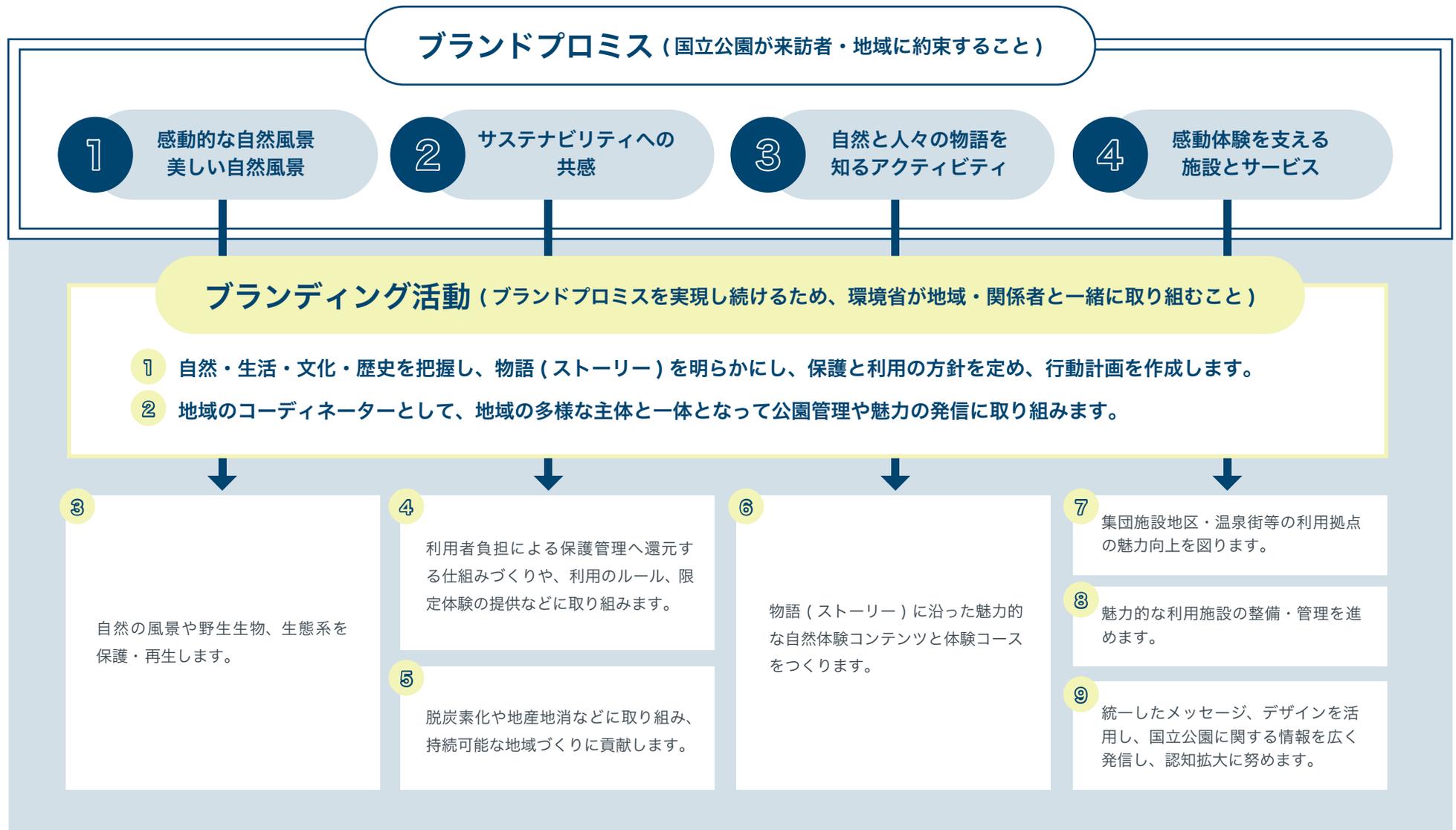
サステナビリティへの
共感

4

感動体験を支える
施設とサービス

3

自然と人々の物語を
知るアクティビティ



【監修者】

指宿市考古博物館 時遊館 Cocco はしむれ

指宿市農政部農政課

高原 純一（産業能率大学経営学部教授）

【写真提供者】

公益社団法人 鹿児島県観光連盟 (K.P.V.B)

【発行】

2025年8月

【請負業者】

株式会社 自然教育研究センター

斯文堂株式会社

【発行者】

環境省九州地方環境事務所

霧島錦江湾国立公園管理事務所

